

# 「国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 国民のアイヌに対する理解度に関する意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無  
(2) アイヌの人々に対する差別や偏見について  
(3) 国民理解の促進について
- 3 関係省庁 内閣官房（アイヌ総合政策室）
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国 20 歳以上の日本国籍を有する者  
(2) 標本数 3,000 人  
(3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
- 5 調査時期 平成 28 年 1 月 14 日～1 月 24 日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,727 人 (57.6%)  
(2) 調査不能数(率) 1,273 人 (42.4%)  
－不能内訳－  
転居 107 長期不在 74 一時不在 481  
住所不明 36 拒否 507 被災 0  
その他 68  
(病気など)

## 9 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率		
				%					%		
性	男	20～29 歳	188	64	34.0	性	女	20～29 歳	160	69	43.1
		30～39 歳	214	98	45.8			30～39 歳	209	116	55.5
		40～49 歳	256	137	53.5			40～49 歳	261	169	64.8
		50～59 歳	211	106	50.2			50～59 歳	239	159	66.5
		60～69 歳	283	176	62.2			60～69 歳	286	198	69.2
		70 歳以上	307	191	62.2			70 歳以上	386	244	63.2
計		1,459	772	52.9	計		1,541	955	62.0		

10 本報告書で結果を引用した過去の世論調査は次のとおりである。

【国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査】	(標本数)	(有効回収数)
「アイヌ政策に関する世論調査」		
平成25年10月調査	3,000人	1,745人

## 調査結果の概要

### 1 アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

#### (1) アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはあるか聞いたところ、「ある」と答えた者の割合が24.7%、「ない」と答えた者の割合が74.1%となっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

(図1, 表1)

図1 アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

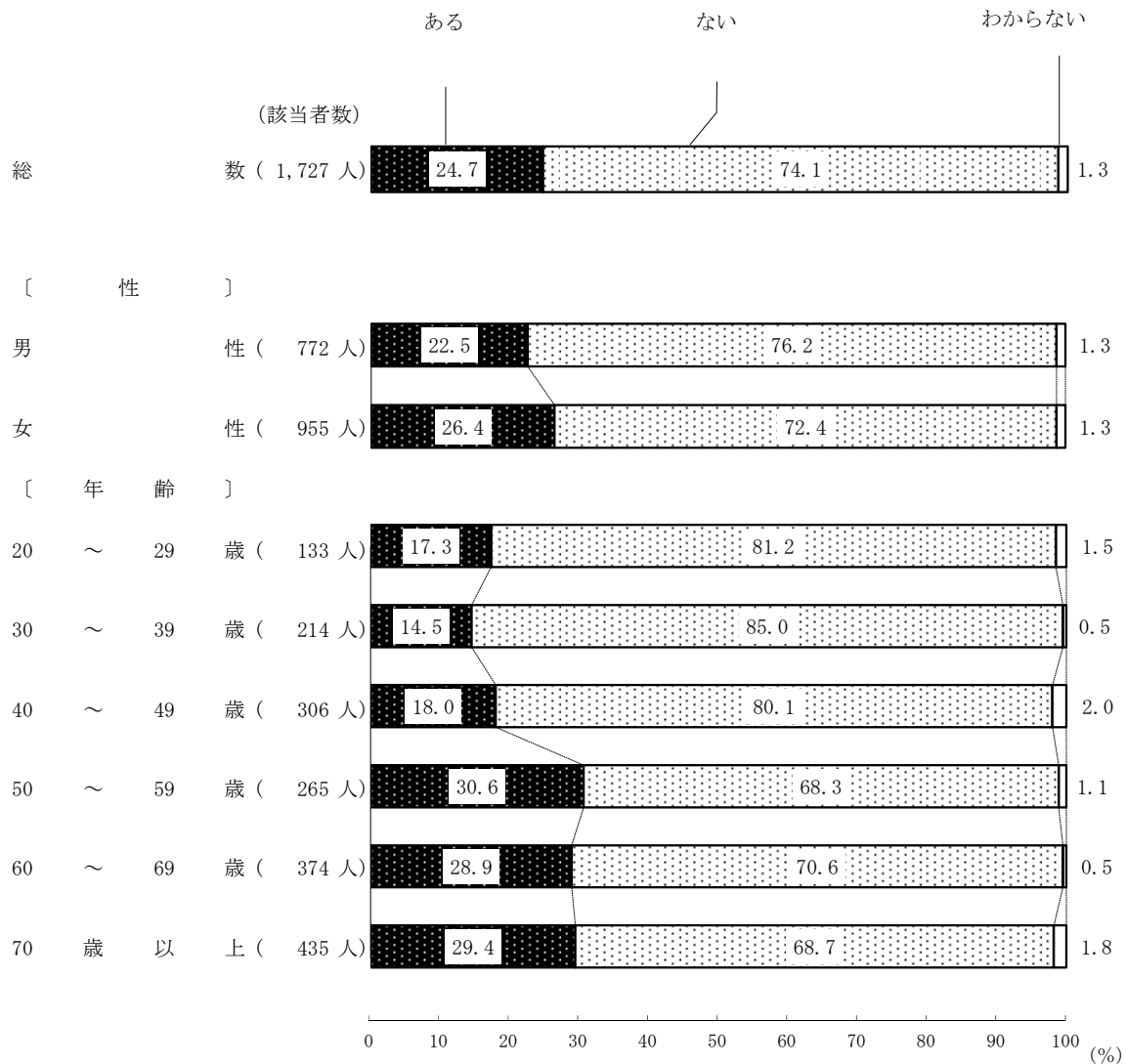


表1 アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

	該 当 者 数	あ る	な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
総数	1,727	24.7	74.1	1.3
〔都市規模〕				
大都市	468	23.9	75.2	0.9
東京都区部	102	30.4	67.6	2.0
政令指定都市	366	22.1	77.3	0.5
中都市	690	26.2	71.7	2.0
小都市	419	23.2	76.1	0.7
町	150	24.0	75.3	0.7
〔性〕				
男性	772	22.5	76.2	1.3
女性	955	26.4	72.4	1.3
〔年齢〕				
20～29歳	133	17.3	81.2	1.5
30～39歳	214	14.5	85.0	0.5
40～49歳	306	18.0	80.1	2.0
50～59歳	265	30.6	68.3	1.1
60～69歳	374	28.9	70.6	0.5
70歳以上	435	29.4	68.7	1.8
〔従業上の地位〕				
雇用者	826	22.0	76.6	1.3
自営業主	133	23.3	76.7	-
家族従業者	36	27.8	69.4	2.8
無職	732	27.7	70.9	1.4
主婦	413	28.3	69.5	2.2
主夫	25	28.0	72.0	-
その他の無職	294	26.9	72.8	0.3
〔職業〕				
管理・専門技術・事務職	416	25.0	73.8	1.2
管理職	52	25.0	75.0	-
専門・技術職	154	26.6	70.8	2.6
事務職	210	23.8	75.7	0.5
販売・サービス・保安職	282	20.9	78.0	1.1
農林漁業職	35	17.1	82.9	-
生産・輸送・建設・労務職	261	20.7	77.8	1.5
無回答	1	-	100.0	-

## 2 アイヌの人々に対する差別や偏見について

### (1) アイヌの人々に対する差別や偏見の有無

アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思うか聞いたところ、「あると思う」と答えた者の割合が17.9%、「ないと思う」と答えた者の割合が50.7%となっている。なお、「わからない」と答えた者の割合が31.4%となっている。

性別に見ると、「ないと思う」と答えた者の割合は男性で、「わからない」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。(図2, 表2)

図2 アイヌの人々に対する差別や偏見の有無

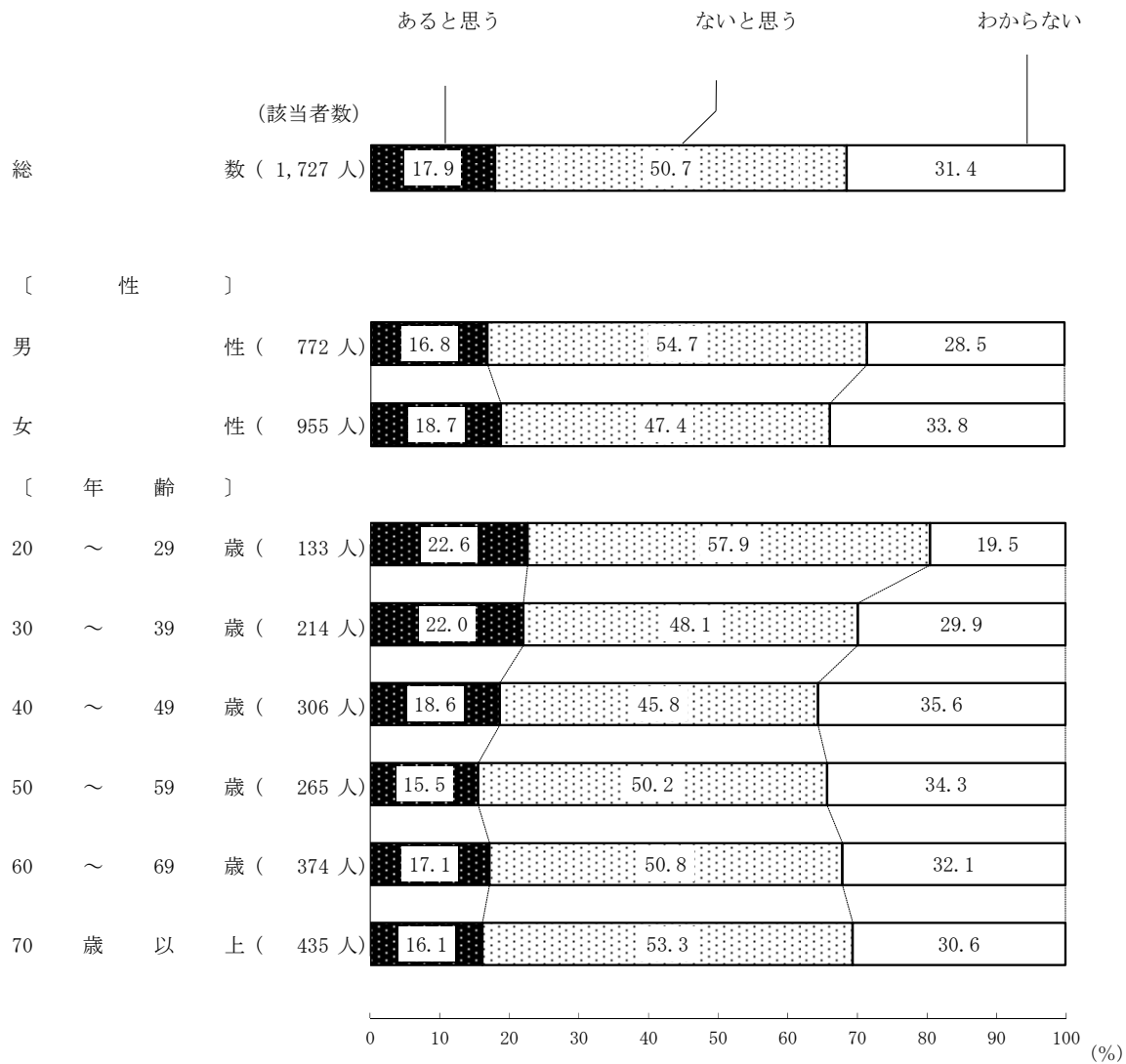


表2 アイヌの人々に対する差別や偏見の有無

	該 当 者 数	あ る と 思 う	な い と 思 う	わ か ら な い
	人	%	%	%
総数	1,727	17.9	50.7	31.4
〔都市規模〕				
大都市	468	19.7	52.6	27.8
東京都	102	25.5	50.0	24.5
政令指定都市	366	18.0	53.3	28.7
中都市	690	17.5	51.2	31.3
小都市	419	17.2	49.2	33.7
町	150	16.0	46.7	37.3
〔性別〕				
男性	772	16.8	54.7	28.5
女性	955	18.7	47.4	33.8
〔年齢〕				
20～29歳	133	22.6	57.9	19.5
30～39歳	214	22.0	48.1	29.9
40～49歳	306	18.6	45.8	35.6
50～59歳	265	15.5	50.2	34.3
60～69歳	374	17.1	50.8	32.1
70歳以上	435	16.1	53.3	30.6
〔従業上の地位〕				
雇用者	826	18.0	50.7	31.2
自営業	133	12.8	59.4	27.8
家族従業者	36	19.4	47.2	33.3
無職	732	18.6	49.2	32.2
主婦	413	18.9	46.5	34.6
主夫	25	12.0	56.0	32.0
その他の無職	294	18.7	52.4	28.9
〔職業〕				
管理・専門技術・事務職	416	21.6	48.1	30.3
管理職	52	21.2	46.2	32.7
専門・技術職	154	30.5	41.6	27.9
事務職	210	15.2	53.3	31.4
販売・サービス・保安職	282	14.9	55.3	29.8
農林漁業職	35	8.6	60.0	31.4
生産・輸送・建設・労務職	261	14.6	52.9	32.6
無回答	1	-	-	100.0

〔参考〕 アイヌへの差別や偏見の有無

	該 当 者 数	平等である （小計）			平等ではない （小計）		わ か ら な い	
		平等である （小計）	どちらかという と平等である と思う	どちらかという と平等である と思う	平等ではない （小計）	どちらかという と平等ではない と思う		
	人	%	%	%	%	%	%	
平成25年10月調査	1,745	50.4	25.3	25.1	33.5	24.3	9.2	16.1

(注) 「あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見がなく平等であると思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

ア 差別や偏見があると思う理由

アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者（309人）に、なぜ差別や偏見があると回答したかを聞いたところ、「報道などを通じてアイヌの人々が差別を受けているという話を聞いたことがある」を挙げた者の割合が47.2%、「漠然と差別や偏見があるイメージがある」を挙げた者の割合が39.8%と高く、以下、「経済格差や教育格差があるイメージがある」（24.6%）、「昔、学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていると聞いて、今もそのイメージがある」（21.0%）などの順となっている。（複数回答、上位4項目）

性別に見ると、大きな差異は見られない。（図3，表3）

図3 差別や偏見があると思う理由

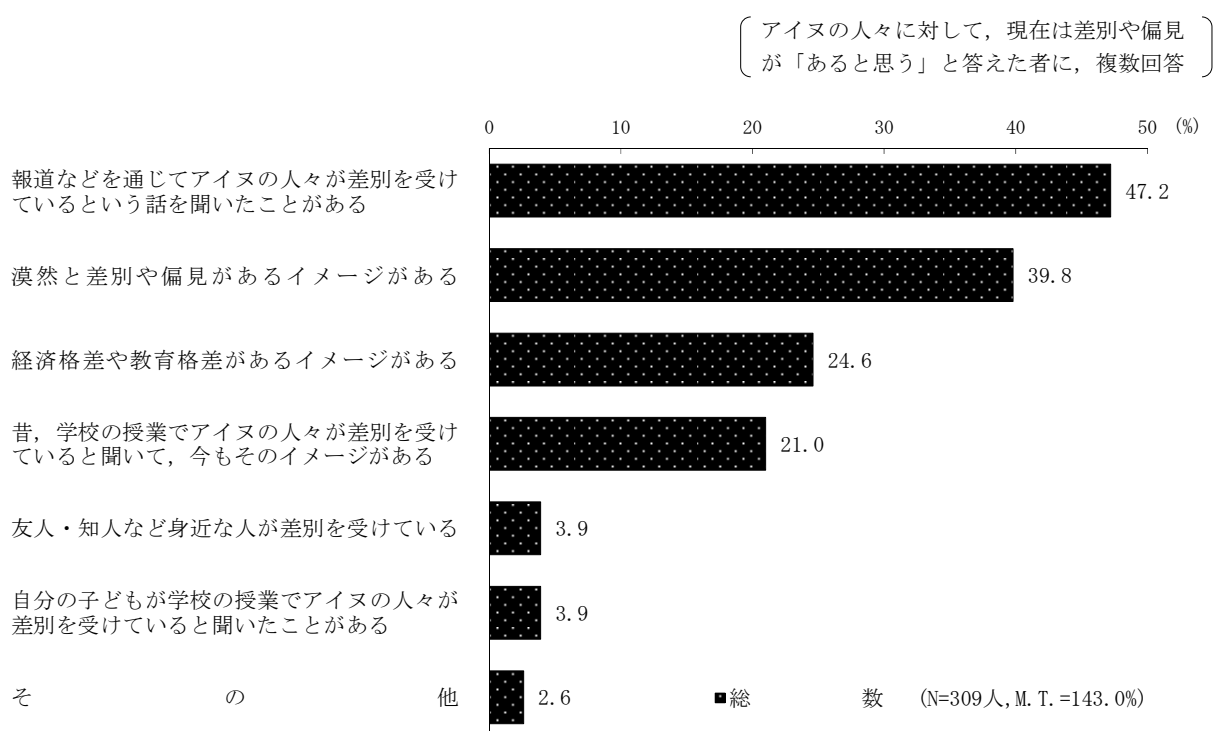


表3 差別や偏見があると思う理由

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	人 %	報 道 な ど を 通 じ て ア イ ヌ の 人 々 が 差 別 を 受 け て い る と い う 話 を 聞 い た こ と が あ る	漠 然 と 差 別 や 偏 見 が あ る イ メ ー ジ が あ る	経 済 格 差 や 教 育 格 差 が あ る イ メ ー ジ が あ る	昔 、 学 校 の 授 業 で ア イ ヌ の 人 々 が 差 別 を 受 け て い る と 聞 い て 、 今 も そ の イ メ ー ジ が あ る	友 人 ・ 知 人 な ど 身 近 な 人 が 差 別 を 受 け て い る	自 分 の 子 ど も が 学 校 の 授 業 で ア イ ヌ の 人 々 が 差 別 を 受 け て い る と 聞 い た こ と が あ る	そ の 他	計 (M.T.) %
総数	309	47.2	39.8	24.6	21.0	3.9	3.9	2.6	143.0	
〔都市規模〕										
大都市	92	52.2	35.9	21.7	27.2	4.3	4.3	3.3	148.9	
東京都	26	50.0	26.9	15.4	26.9	7.7	7.7	3.8	138.5	
政令指定都市	66	53.0	39.4	24.2	27.3	3.0	3.0	3.0	153.0	
中都市	121	48.8	38.8	24.8	20.7	3.3	2.5	1.7	140.5	
小都市	72	38.9	45.8	23.6	18.1	2.8	4.2	4.2	137.5	
町	24	45.8	41.7	37.5	8.3	8.3	8.3	-	150.0	
〔性〕										
男性	130	49.2	42.3	23.1	18.5	3.1	4.6	1.5	142.3	
女性	179	45.8	38.0	25.7	22.9	4.5	3.4	3.4	143.6	
〔年齢〕										
20～29歳	30	23.3	36.7	20.0	33.3	3.3	6.7	3.3	126.7	
30～39歳	47	48.9	36.2	10.6	31.9	2.1	4.3	-	134.0	
40～49歳	57	45.6	36.8	28.1	22.8	7.0	3.5	5.3	149.1	
50～59歳	41	63.4	29.3	29.3	22.0	4.9	7.3	-	156.1	
60～69歳	64	53.1	46.9	34.4	10.9	4.7	3.1	3.1	156.3	
70歳以上	70	42.9	45.7	21.4	15.7	1.4	1.4	2.9	131.4	
〔従業上の地位〕										
雇用者	149	46.3	42.3	20.1	24.2	3.4	4.7	1.3	142.3	
自営業主	17	58.8	41.2	29.4	5.9	5.9	5.9	5.9	152.9	
家族従業者	7	85.7	28.6	28.6	-	-	-	-	142.9	
無職	136	44.9	37.5	28.7	20.6	4.4	2.9	3.7	142.6	
主婦	78	46.2	33.3	28.2	24.4	6.4	2.6	5.1	146.2	
主夫	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	100.0	
その他の無職	55	41.8	45.5	29.1	16.4	1.8	3.6	1.8	140.0	
〔職業〕										
管理・専門技術・事務職	90	51.1	43.3	21.1	23.3	4.4	5.6	1.1	150.0	
管理職	11	63.6	18.2	18.2	9.1	-	-	-	109.1	
専門・技術職	47	53.2	42.6	17.0	25.5	2.1	2.1	2.1	144.7	
事務職	32	43.8	53.1	28.1	25.0	9.4	12.5	-	171.9	
販売・サービス・保安職	42	52.4	47.6	16.7	14.3	-	2.4	2.4	135.7	
農林漁業職	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	100.0	
生産・輸送・建設・労務職	38	42.1	31.6	26.3	26.3	5.3	5.3	2.6	139.5	



## イ 友人・知人など身近な人が受けた差別

アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者で、差別や偏見があると回答した理由に「友人・知人など身近な人が差別を受けている」を挙げた者（12人）に、友人・知人など身近な人が受けたのは、どのような場面における、どのような差別か聞いたところ、「本人に対して直接的ではないが、本人がアイヌであることを知らない周囲の人がアイヌに対する差別的な発言をしているのを聞いた」を挙げた者の割合が50.0%、「学校で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた」を挙げた者の割合が16.7%、「結婚や交際のこと、相手の親族にアイヌであることを理由に反対された」を挙げた者の割合が16.7%、「近所、自治会等で、アイヌであることを理由に疎外された」を挙げた者の割合が16.7%などの順となっている。（複数回答，上位4項目）（図4，表4）

図4 友人・知人など身近な人が受けた差別

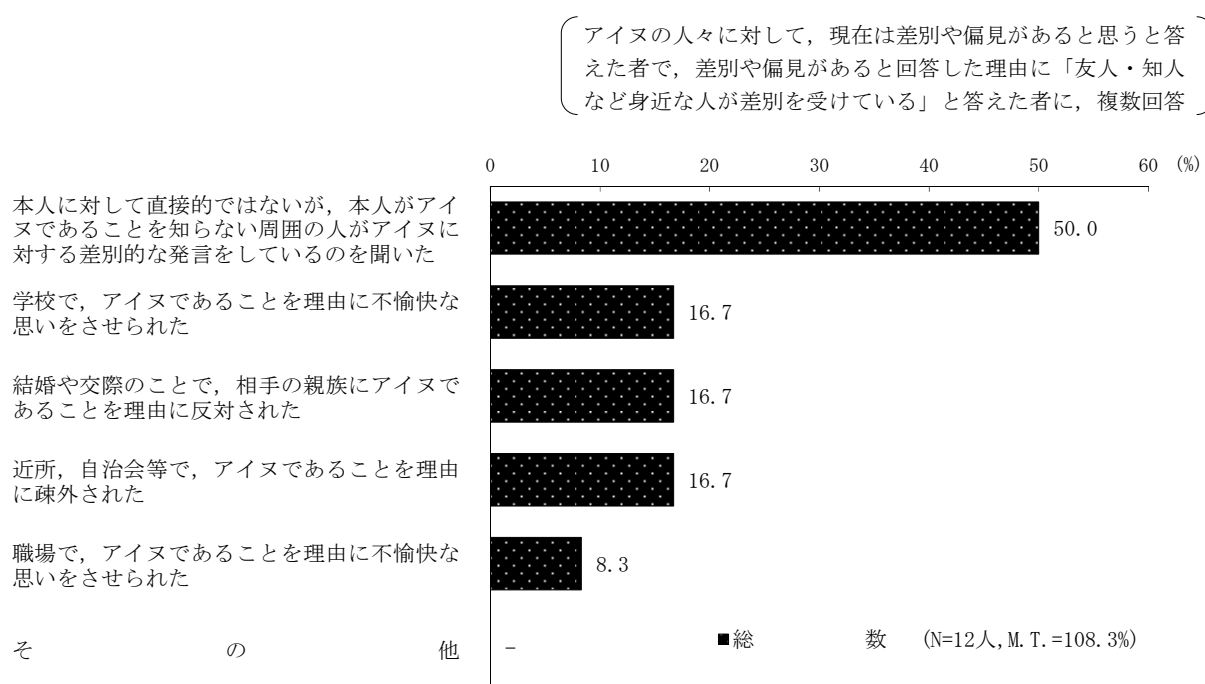


表4 友人・知人など身近な人が受けた差別

〔アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思うと答えた者で、差別や偏見があると回答した理由に「友人・知人など身近な人が差別を受けている」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	言 围 人 の 人 が アイ ヌ に 対 し て の アイ ヌ に 対 す る 差 別 的 な 発 言 を 聞 いた	本 人 に 対 し て 直 接 的 な 差 別 的 な 発 言 を 聞 いた	学 校 で 、 アイ ヌ に 対 し て の 差 別 的 な 発 言 を 聞 いた	不 学 校 で 、 アイ ヌ に 対 し て の 差 別 的 な 発 言 を 聞 いた	た ア 婚 イ ヌ と 交 際 す る こ と を 理 由 に 反 対 親 族 に さ れ た	結 婚 や 交 際 す る こ と を 理 由 に 反 対 親 族 に さ れ た	近 所 、 自 治 会 等 で 、 アイ ヌ に 対 し て の 差 別 的 な 発 言 を 聞 いた	職 場 で 、 アイ ヌ に 対 し て の 差 別 的 な 発 言 を 聞 いた	そ の 他	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕	12	50.0	16.7	16.7	16.7	8.3	-	108.3			
大 都 市	4	75.0	-	-	25.0	-	-	100.0			
東 京 都 区 部	2	50.0	-	-	50.0	-	-	100.0			
政 令 指 定 都 市	2	100.0	-	-	-	-	-	100.0			
中 都 市	4	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-	125.0			
小 都 市	2	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0			
町 村	2	50.0	-	-	-	50.0	-	100.0			
〔 性 〕											
男 性	4	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	125.0			
女 性	8	62.5	-	12.5	12.5	12.5	-	100.0			
〔 年 齢 〕											
20 ～ 29 歳	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0			
30 ～ 39 歳	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0			
40 ～ 49 歳	4	75.0	-	-	-	25.0	-	100.0			
50 ～ 59 歳	2	100.0	-	-	-	-	-	100.0			
60 ～ 69 歳	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	133.3			
70 歳 以 上	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0			
〔 従 業 上 の 地 位 〕											
雇 用 者	5	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-	100.0			
自 営 業 者	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0			
家 族 従 業 者	-	-	-	-	-	-	-	-			
無 職	6	66.7	16.7	33.3	-	-	-	116.7			
主 婦	5	80.0	-	20.0	-	-	-	100.0			
主 夫	-	-	-	-	-	-	-	-			
そ の 他 の 無 職	1	-	100.0	100.0	-	-	-	200.0			
〔 職 業 〕											
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	4	25.0	25.0	-	50.0	-	-	100.0			
管 理 職	-	-	-	-	-	-	-	-			
専 門 ・ 技 術 職	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0			
事 務 職	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	100.0			
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	-	-	-	-	-	-	-	-			
農 林 漁 業 職	-	-	-	-	-	-	-	-			
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	2	50.0	-	-	-	50.0	-	100.0			

## ウ 差別や偏見の原因・背景

アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者（309人）に、差別や偏見の原因・背景は何だと思うか聞いたところ、「アイヌの歴史に関する理解の不十分さ」を挙げた者の割合が65.0%、「アイヌ文化に対する理解の不十分さ」を挙げた者の割合が64.1%と高く、以下、「行政や学校教育におけるアイヌの人々の理解を深める取組が不十分」（42.1%）などの順となっている。（複数回答，上位3項目）

性別に見ると、「アイヌ文化に対する理解の不十分さ」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。（図5，表5）

図5 差別や偏見の原因・背景

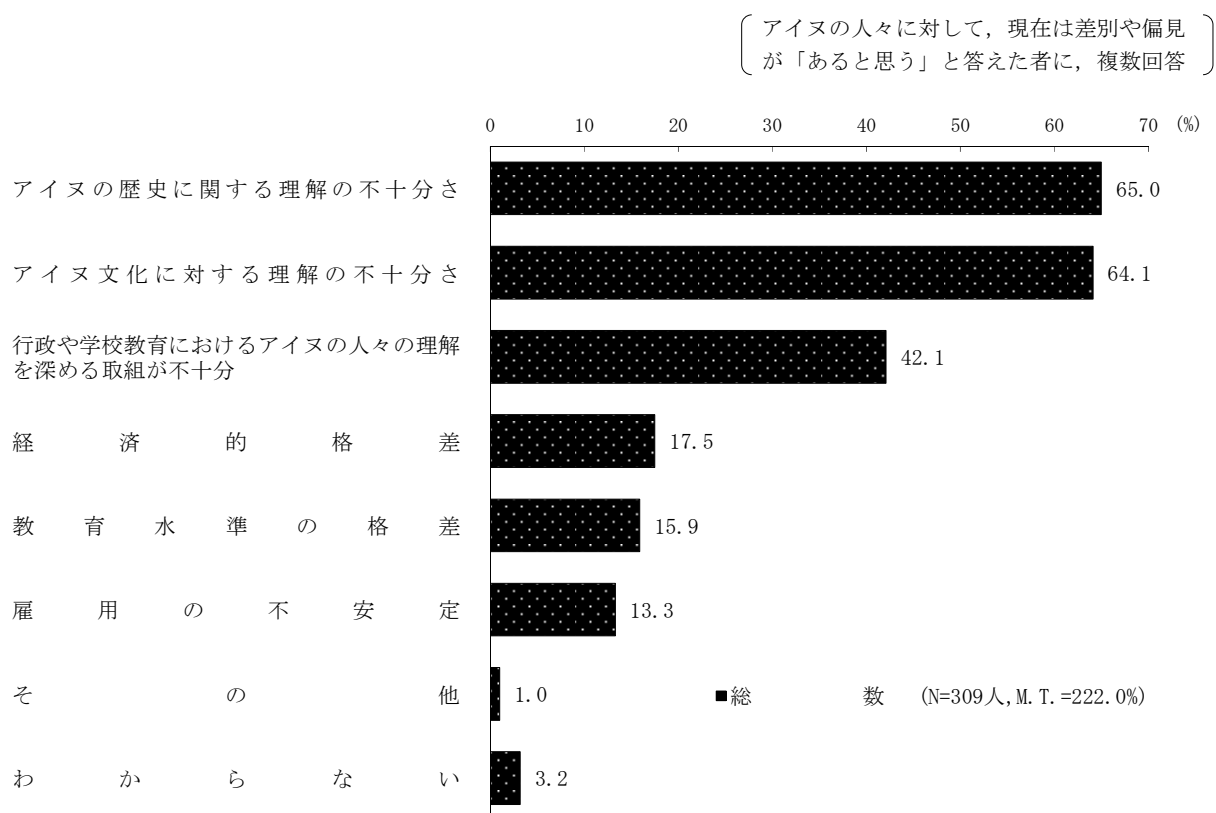


表5 差別や偏見の原因・背景

〔アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	ア イ ヌ の 歴 史 に 関 す る 理 解 の 不 十 分 さ	ア イ ヌ 文 化 に 対 す る 理 解 の 不 十 分 さ	ア イ ヌ の 学 校 教 育 に お け る 取 組 み の 不 十 分 さ	行 政 や 学 校 教 育 に お け る 取 組 み の 不 十 分 さ	経 済 的 格 差	教 育 水 準 の 格 差	雇 用 の 不 安 定	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	309	65.0	64.1	42.1	17.5	15.9	13.3	1.0	3.2	222.0	
〔都市規模〕											
大都市	92	65.2	67.4	43.5	14.1	15.2	10.9	-	1.1	217.4	
東京都区部	26	61.5	57.7	50.0	15.4	19.2	15.4	-	3.8	223.1	
政令指定都市	66	66.7	71.2	40.9	13.6	13.6	9.1	-	-	215.2	
中都市	121	70.2	60.3	43.0	19.8	14.0	16.5	0.8	5.0	229.8	
小都市	72	59.7	66.7	38.9	19.4	18.1	12.5	2.8	2.8	220.8	
町村	24	54.2	62.5	41.7	12.5	20.8	8.3	-	4.2	204.2	
〔性別〕											
男性	130	66.2	76.2	36.9	19.2	14.6	13.1	1.5	3.1	230.8	
女性	179	64.2	55.3	45.8	16.2	16.8	13.4	0.6	3.4	215.6	
〔年齢〕											
20～29歳	30	60.0	63.3	46.7	16.7	20.0	6.7	-	3.3	216.7	
30～39歳	47	76.6	70.2	44.7	6.4	12.8	6.4	-	-	217.0	
40～49歳	57	63.2	77.2	36.8	14.0	10.5	10.5	1.8	1.8	215.8	
50～59歳	41	73.2	65.9	41.5	12.2	12.2	9.8	-	-	214.6	
60～69歳	64	65.6	62.5	45.3	18.8	17.2	21.9	1.6	6.3	239.1	
70歳以上	70	55.7	50.0	40.0	30.0	21.4	17.1	1.4	5.7	221.4	
〔従業上の地位〕											
雇用者	149	68.5	67.1	36.9	13.4	14.1	8.7	0.7	2.7	212.1	
自営業	17	70.6	76.5	52.9	11.8	11.8	5.9	-	5.9	235.3	
家族従業者	7	28.6	71.4	28.6	14.3	28.6	-	-	-	171.4	
無職	136	62.5	58.8	47.1	22.8	17.6	19.9	1.5	3.7	233.8	
主婦	78	62.8	56.4	48.7	19.2	15.4	21.8	-	2.6	226.9	
主夫	3	66.7	66.7	-	-	-	-	-	-	133.3	
その他の無職	55	61.8	61.8	47.3	29.1	21.8	18.2	3.6	5.5	249.1	
〔職業〕											
管理・専門技術・事務職	90	74.4	74.4	40.0	13.3	13.3	10.0	-	1.1	226.7	
管理職	11	63.6	81.8	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-	181.8	
専門・技術職	47	80.9	70.2	46.8	12.8	10.6	4.3	-	2.1	227.7	
事務職	32	68.8	78.1	40.6	15.6	18.8	18.8	-	-	240.6	
販売・サービス・保安職	42	64.3	61.9	40.5	21.4	19.0	11.9	2.4	4.8	226.2	
農林漁業職	3	33.3	100.0	33.3	-	33.3	-	-	-	200.0	
生産・輸送・建設・労務職	38	55.3	57.9	31.6	5.3	10.5	-	-	5.3	165.8	

エ 差別や偏見を無くすために必要なこと

アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者（309人）に、差別や偏見を無くすために必要なことは何だと思うか聞いたところ、「アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育」を挙げた者の割合が72.5%と最も高く、以下、「アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動」（53.4%）、「アイヌの人々への教育の充実・支援」（28.2%）などの順となっている。（複数回答，上位3項目）（図6，表6）

図6 差別や偏見を無くすために必要なこと

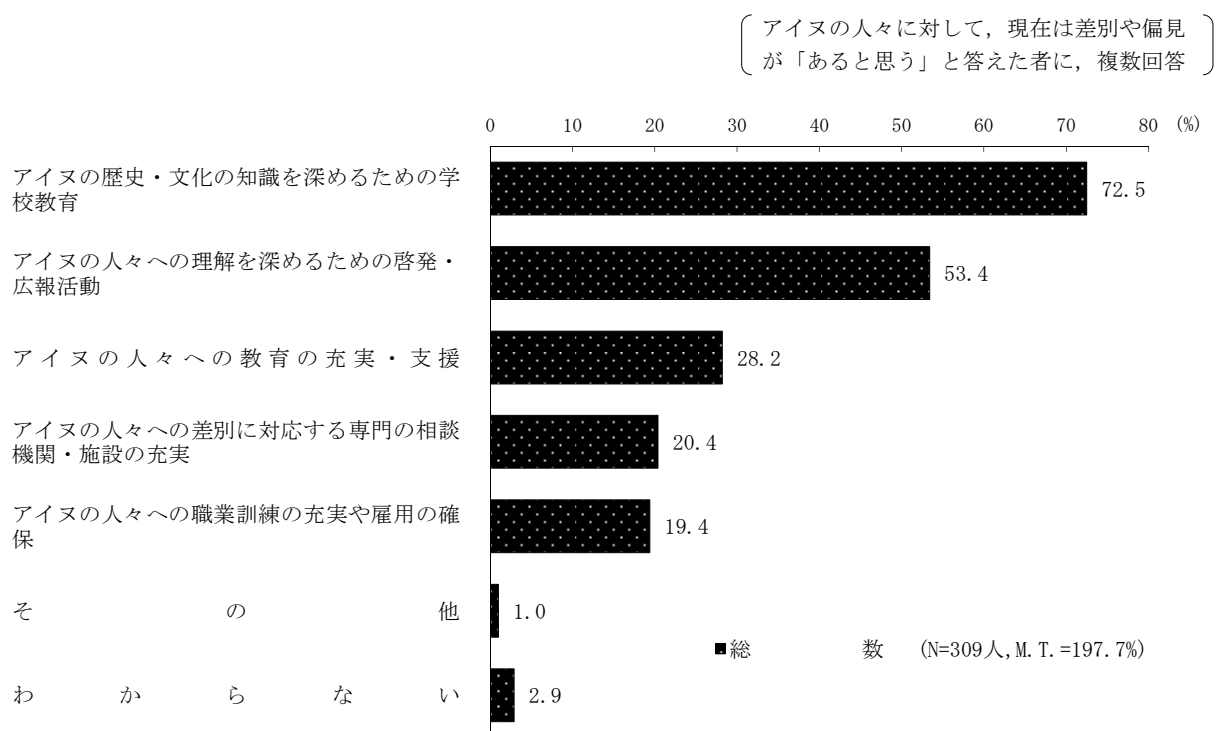


表6 差別や偏見を無くすために必要なこと

アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答

	該 当 者 数	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育	アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動	アイヌの人々への教育の充実・支援	アイヌの人々への差別・別に対する専門の相談機関・施設に対応	アイヌの人々への職業訓練の確保	その他	わからない	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	309	72.5	53.4	28.2	20.4	19.4	1.0	2.9	197.7
〔都市規模〕									
大都市	92	79.3	52.2	27.2	22.8	21.7	-	2.2	205.4
東京都	26	73.1	57.7	30.8	23.1	26.9	-	7.7	219.2
政令指定都市	66	81.8	50.0	25.8	22.7	19.7	-	-	200.0
中都市	121	71.9	57.0	27.3	19.0	16.5	0.8	5.0	197.5
小都市	72	63.9	47.2	31.9	20.8	22.2	2.8	1.4	190.3
町	24	75.0	58.3	25.0	16.7	16.7	-	-	191.7
〔性別〕									
男性	130	73.1	53.8	26.9	23.1	16.9	2.3	0.8	196.9
女性	179	72.1	53.1	29.1	18.4	21.2	-	4.5	198.3
〔年齢〕									
20～29歳	30	53.3	46.7	30.0	16.7	30.0	6.7	6.7	190.0
30～39歳	47	78.7	44.7	25.5	14.9	21.3	-	-	185.1
40～49歳	57	70.2	61.4	33.3	17.5	17.5	-	-	200.0
50～59歳	41	80.5	75.6	19.5	26.8	17.1	-	-	219.5
60～69歳	64	79.7	53.1	29.7	23.4	21.9	1.6	4.7	214.1
70歳以上	70	67.1	42.9	28.6	21.4	14.3	-	5.7	180.0
〔従業上の地位〕									
雇用者	149	71.1	55.7	26.8	19.5	17.4	2.0	2.0	194.6
自営業主	17	70.6	58.8	17.6	17.6	17.6	-	-	182.4
家族従業者	7	85.7	57.1	14.3	14.3	28.6	-	-	200.0
無職	136	73.5	50.0	31.6	22.1	21.3	-	4.4	202.9
主婦	78	75.6	51.3	29.5	14.1	21.8	-	5.1	197.4
主夫	3	33.3	66.7	-	33.3	-	-	-	133.3
その他の無職	55	72.7	47.3	36.4	32.7	21.8	-	3.6	214.5
〔職業〕									
管理・専門技術・事務職	90	74.4	60.0	28.9	18.9	18.9	-	2.2	203.3
管理職	11	81.8	63.6	9.1	18.2	-	-	-	172.7
専門・技術職	47	72.3	61.7	29.8	14.9	17.0	-	4.3	200.0
事務職	32	75.0	56.3	34.4	25.0	28.1	-	-	218.8
販売・サービス・保安職	42	69.0	52.4	21.4	19.0	23.8	2.4	-	188.1
農林漁業職	3	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-	166.7
生産・輸送・建設・労務職	38	68.4	50.0	21.1	21.1	10.5	5.3	2.6	178.9

[参考] 重要だと思うアイヌ関連施策

(複数回答)

	該 当 者 数	アイヌの歴史・文化の知識を深めるための アイヌの学校教育	アイヌの人々への理解を深めるための啓 発・広報活動	アイヌ文化継承のための人材育成	アイヌ文化の更なる振興	アイヌの人々への教育の充実・支援	アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の 確保などの生活支援	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 25 年 10 月 調 査	1,745	51.3	43.4	31.1	27.1	25.4	21.5	1.1	7.2	9.3	217.5

(注) 「あなたは、アイヌの人々に関する施策のうち、どのような取組を重点的に行うべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

オ 差別や偏見がないと思う理由

アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「ないと思う」と答えた者（875人）に、なぜ差別や偏見がないと回答したか聞いたところ、「アイヌの人々が差別を受けている場面を見たり、差別を受けている話を聞いたことがないから」を挙げた者の割合が69.7%と最も高く、以下、「今のアイヌの人々は、アイヌ以外の人々と同様に現代的な生活をしているから」（30.1%）などの順となっている。（複数回答，上位2項目）

性別に見ると、大きな差異は見られない。 （図7，表7）

図7 差別や偏見がないと思う理由

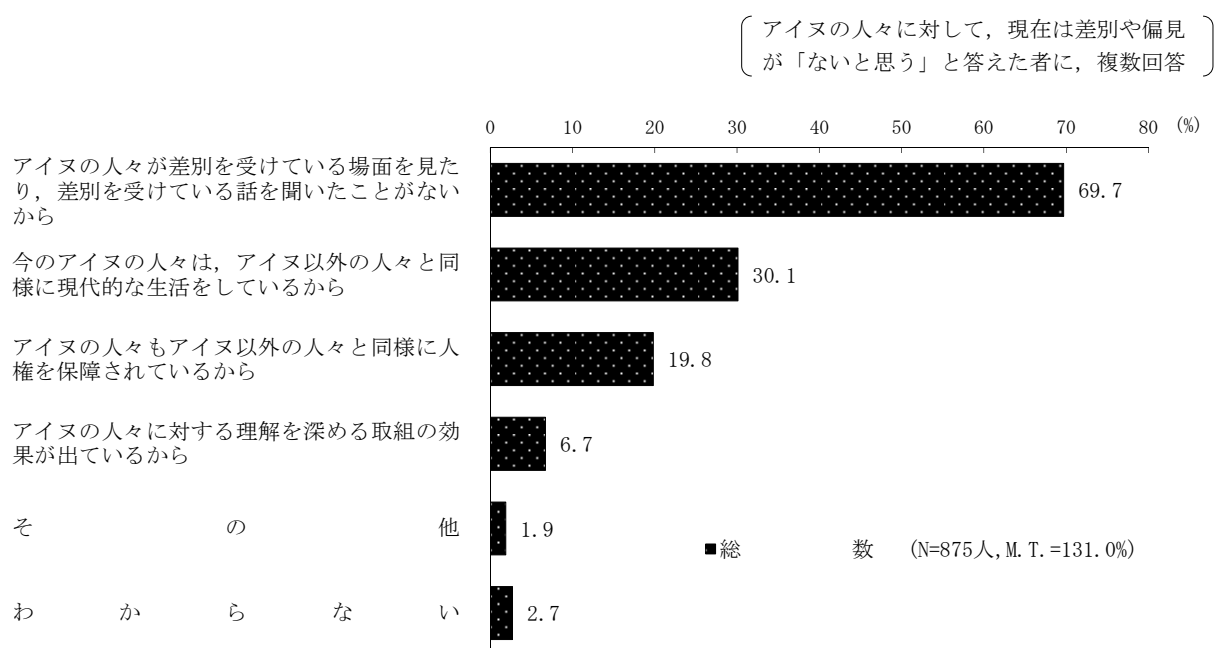




表7 差別や偏見がないと思う理由

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「ないと思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	い け ら ら い 場 面 の 話 を 見 た り 、 別 の 差 別 を 受 け て	ア イ ヌ の 人 々 と の 差 別 を 受 け て	今 日 の ア イ ヌ の 人 々 に は 、 現 代 的 な	人 々 の 人 権 を 保 障 さ れ	ア イ ヌ の 人 々 に も イ ヌ の 保 障 を 以 て	深 く 理 解 す る こ と が 出 る 理 由 を	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
総数	875	69.7	30.1	19.8	6.7	1.9	2.7	131.0		
〔都市規模〕										
大都市	246	72.4	28.9	19.5	6.9	2.0	2.8	132.5		
東京都	51	76.5	21.6	11.8	9.8	-	7.8	127.5		
政令指定都市	195	71.3	30.8	21.5	6.2	2.6	1.5	133.8		
中都市	353	67.1	32.3	20.7	7.1	2.0	3.4	132.6		
小都市	206	69.9	29.6	19.4	6.8	1.9	1.5	129.1		
町	70	72.9	24.3	17.1	4.3	1.4	2.9	122.9		
〔性別〕										
男性	422	66.8	29.4	20.9	5.9	2.1	2.6	127.7		
女性	453	72.4	30.7	18.8	7.5	1.8	2.9	134.0		
〔年齢〕										
20～29歳	77	68.8	35.1	10.4	6.5	-	1.3	122.1		
30～39歳	103	77.7	24.3	16.5	3.9	1.0	2.9	126.2		
40～49歳	140	83.6	23.6	12.9	2.1	-	0.7	122.9		
50～59歳	133	72.9	31.6	18.0	9.0	2.3	2.3	136.1		
60～69歳	190	64.7	33.2	20.5	7.9	2.6	3.7	132.6		
70歳以上	232	60.3	31.5	28.9	8.6	3.4	3.9	136.6		
〔従業上の地位〕										
雇用者	419	74.0	30.5	18.1	5.3	1.9	1.4	131.3		
自営業	79	68.4	25.3	21.5	7.6	2.5	2.5	127.8		
家族従業者	17	76.5	11.8	17.6	11.8	-	-	117.6		
無職	360	64.7	31.4	21.4	8.1	1.9	4.4	131.9		
主婦	192	70.3	29.7	19.8	8.3	2.1	5.2	135.4		
主夫	14	50.0	35.7	21.4	7.1	-	-	114.3		
その他の無職	154	59.1	33.1	23.4	7.8	1.9	3.9	129.2		
〔職業〕										
管理・専門技術・事務職	200	72.0	29.0	18.5	6.5	2.5	1.5	130.0		
管理職	24	58.3	29.2	29.2	8.3	8.3	-	133.3		
専門・技術職	64	57.8	31.3	20.3	9.4	3.1	3.1	125.0		
事務職	112	83.0	27.7	15.2	4.5	0.9	0.9	132.1		
販売・サービス・保安職	156	76.3	30.1	18.6	5.8	0.6	-	131.4		
農林漁業職	21	61.9	19.0	23.8	4.8	-	4.8	114.3		
生産・輸送・建設・労務職	138	73.2	29.7	18.1	5.1	2.9	2.9	131.9		

### 3 国民理解の促進について

#### (1) 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いか聞いたところ、「テレビ番組や新聞を利用した情報提供」を挙げた者の割合が67.8%と最も高く、以下、「再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験」(29.0%)、「インターネットによる広報活動」(27.5%)、「講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催」(22.7%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

前回の調査結果(平成25年10月調査結果をいう)と比較して見ると、「テレビ番組や新聞を利用した情報提供」(72.8%→67.8%)、「再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験」(35.5%→29.0%)、「インターネットによる広報活動」(39.0%→27.5%)、「講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催」(30.3%→22.7%)を挙げた者の割合が低下している。

都市規模別に見ると、「再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「テレビ番組や新聞を利用した情報提供」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「テレビ番組や新聞を利用した情報提供」を挙げた者の割合は30歳代で、「再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験」を挙げた者の割合は20歳代、30歳代で、「インターネットによる広報活動」を挙げた者の割合は20歳代から50歳代で、「講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催」を挙げた者の割合は50歳代で、それぞれ高くなっている。(図8, 表8-1, 表8-2)

図8 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

(複数回答)

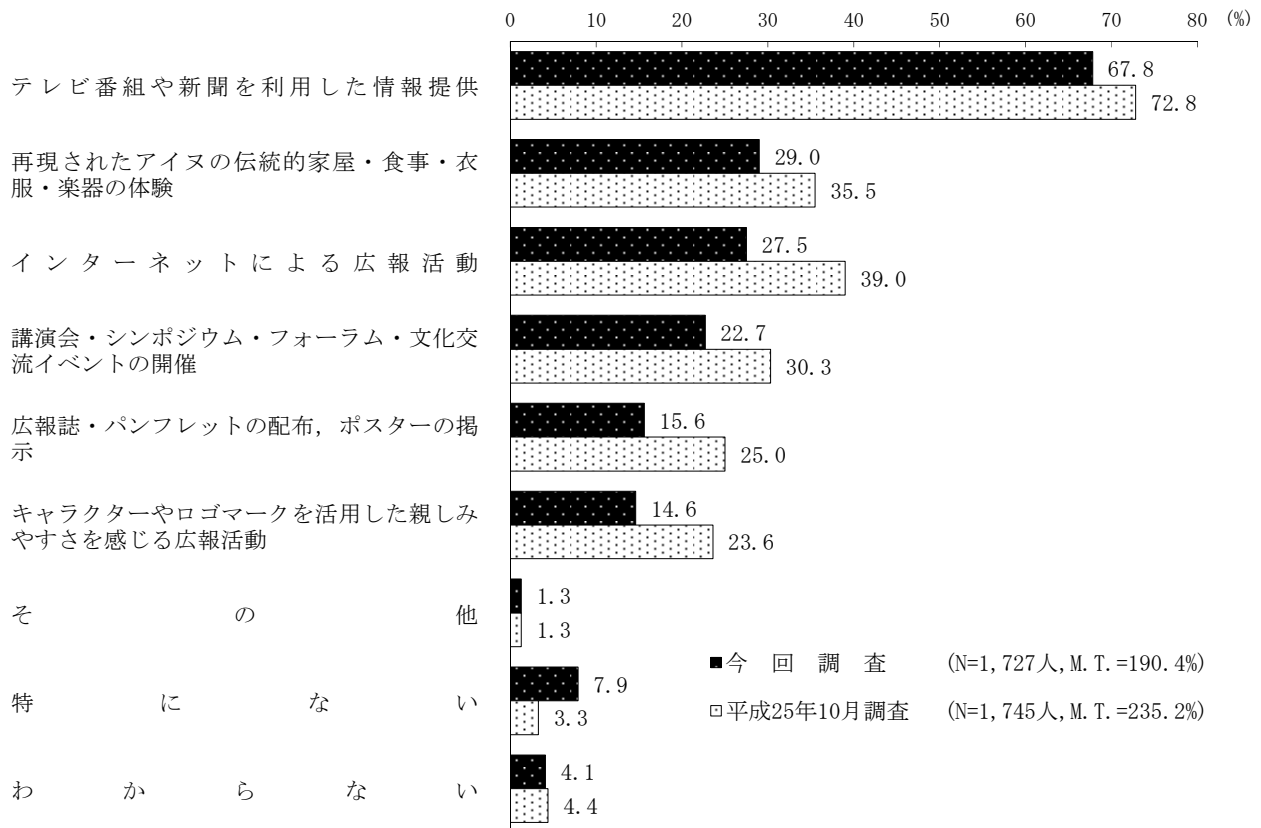


表8-1 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビ番組や新聞を利用した情報提供	再現されたアイヌの伝統的食生活・衣服・楽器の体験	インターネットによる広報活動	講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催	広報誌・パンフレットの配布、ポスターの掲示	親子やファミリーやロゴマークを活用した広報活動	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,727	67.8	29.0	27.5	22.7	15.6	14.6	1.3	7.9	4.1	190.4
〔都市規模〕											
大都市	468	69.9	34.8	29.5	24.8	15.4	16.2	1.3	4.7	3.4	200.0
東京都	102	71.6	37.3	32.4	23.5	10.8	14.7	1.0	8.8	2.9	202.9
政令指定都市	366	69.4	34.2	28.7	25.1	16.7	16.7	1.4	3.6	3.6	199.2
中都市	690	68.8	28.1	27.4	22.8	16.4	14.6	1.4	7.0	4.9	191.4
小都市	419	64.7	25.1	27.7	22.2	15.3	13.8	1.7	10.0	3.8	184.2
町	150	65.3	26.0	21.3	17.3	13.3	11.3	-	16.0	2.7	173.3
〔性〕											
男性	772	63.6	29.0	29.0	21.5	17.4	16.3	1.7	9.5	2.5	190.4
女性	955	71.2	29.0	26.3	23.7	14.1	13.2	1.0	6.6	5.3	190.5
〔年齢〕											
20～29歳	133	69.9	39.8	39.1	12.8	12.0	29.3	1.5	3.8	0.8	209.0
30～39歳	214	75.7	42.5	39.3	23.4	12.6	23.8	0.5	4.7	0.9	223.4
40～49歳	306	72.5	33.3	35.3	22.2	20.6	14.4	0.3	3.6	2.0	204.2
50～59歳	265	70.9	31.7	39.2	29.8	16.6	16.6	0.4	6.8	3.0	215.1
60～69歳	374	60.2	24.3	23.0	24.6	15.8	11.0	1.9	13.1	4.8	178.6
70歳以上	435	64.6	18.4	9.4	19.8	13.8	7.6	2.5	9.9	8.0	154.0
〔従業上の地位〕											
雇用者	826	69.2	34.1	35.4	22.6	14.4	18.3	0.8	6.3	2.3	203.5
自営業主	133	67.7	21.8	24.1	24.1	17.3	12.8	3.8	6.0	0.8	178.2
家族従業者	36	63.9	22.2	22.2	25.0	11.1	25.0	-	8.3	8.3	186.1
無職	732	66.4	24.9	19.5	22.4	16.8	10.2	1.5	10.0	6.4	178.1
主婦	413	69.5	25.9	20.8	25.7	14.8	7.7	1.5	8.0	7.0	180.9
主夫	25	80.0	20.0	12.0	16.0	20.0	8.0	-	4.0	4.0	164.0
その他の無職	294	60.9	23.8	18.4	18.4	19.4	13.9	1.7	13.3	5.8	175.5
〔職業〕											
管理・専門技術・事務職	416	70.7	35.1	35.8	25.7	16.1	21.4	1.2	5.5	2.2	213.7
管理職	52	59.6	25.0	48.1	15.4	7.7	17.3	1.9	7.7	1.9	184.6
専門・技術職	154	69.5	43.5	38.3	37.0	22.1	26.6	1.3	3.9	1.9	244.2
事務職	210	74.3	31.4	31.0	20.0	13.8	18.6	1.0	6.2	2.4	198.6
販売・サービス・保安職	282	67.4	30.1	33.0	21.3	12.8	16.0	1.4	5.3	2.8	190.1
農林漁業職	35	71.4	8.6	8.6	17.1	14.3	11.4	2.9	11.4	-	145.7
生産・輸送・建設・労務職	261	67.0	32.2	33.3	21.1	14.6	14.9	0.8	8.0	2.3	194.3
無回答	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	200.0

表 8 - 2 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法（時系列）

（複数回答）

	該 当 者 数	テレビ番組や新聞を利用した情報提供	再現されたアイヌの伝統的 家屋・食事・ 衣服・楽器の体験	インターネットによる広報活動	講演会・シンポジウム・フォーラム・文化 交流イベントの開催	広報誌・パンフレットの配布、ポスター の掲示	キャラクターやロゴマークを活用した親 しみやすさを感じる広報活動	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
今 回 調 査	1,727	67.8	29.0	27.5	22.7	15.6	14.6	1.3	7.9	4.1	190.4
平成 25 年 10 月 調 査	1,745	72.8	35.5	39.0	30.3	25.0	23.6	1.3	3.3	4.4	235.2

# 国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査

平成 28 年 1 月

調査時期：平成 28 年 1 月 14 日から平成 28 年 1 月 24 日  
調査対象：全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人  
有効回収数(率)：1,727 人 (57.6%)

話は変わりますが、次に時事問題として、「国民のアイヌに対する理解度」に関してお聞きします。

(【資料 1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

## 【資料 1】 アイヌについて

- ・アイヌの人々は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道に先住し、かつては、狩猟・漁労・採集や交易を行い、独自の言語や文化を形成していましたが、北海道開拓時代に日本語教育や猟の制限などにより、アイヌの文化は深刻な打撃を受けました。
- ・現代では、衣食住などの日常生活において、他の日本人と変わらない様式で生活しています。
- ・伝統的な文化には、音楽、工芸、儀礼などがあり、古式舞踊はユネスコの世界無形文化遺産に登録されています。また、独自の言語であるアイヌ語はユネスコの「消滅危機言語」に指定されています。
- ・最近では、様々な場面でアイヌ文化の振興と普及啓発に向けた取組が行われています。

## 1 アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

Q1 あなたは、アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはありますか、それともありませんか。

(注：ご自身がアイヌであると言われた場合には、「ある」に○をする)

(24.7)	(74.1)	( 1.3)
ある	ない	わからない

## 2 アイヌの人々に対する差別や偏見について

Q2 あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思いますか、それともないと思いますか。

(17.9)	(50.7)	(31.4)
あると思う	ないと思う	わからない
↓	→ (SQ bへ)	→ (Q3へ)

(SQ a 1～SQ a 3は、Q2で「あると思う」と答えた方に)

SQ a 1【回答票 1】あなたは、なぜ差別や偏見があると回答しましたか。

この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=309)

- ( 3.9) (ア) 友人・知人など身近な人が差別を受けている → (SSQへ)
- (47.2) (イ) 報道などを通じてアイヌの人々が差別を受けているという話を聞いたことがある
- (21.0) (ウ) 昔、学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていると聞いて、今もそのイメージがある
- ( 3.9) (エ) 自分の子どもが学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていると聞いたことがある
- (24.6) (オ) 経済格差や教育格差があるイメージがある
- (39.8) (カ) 漠然と差別や偏見があるイメージがある
- ( 2.6) その他 ( )

(M.T.=143.0)

(SQ a 2へ)

(SQ a 1で「(ア) 友人・知人など身近な人が差別を受けている」と答えた方に)

SSQ [回答票2] 友人・知人など身近な人が受けたのは、どのような場面における、どのような差別でしたか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=12)

- ( 8.3) (ア) 職場で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた
- (16.7) (イ) 学校で、アイヌであることを理由に不愉快な思いをさせられた
- (16.7) (ウ) 結婚や交際のことで、相手の親族にアイヌであることを理由に反対された
- (16.7) (エ) 近所、自治会等で、アイヌであることを理由に疎外された
- (50.0) (オ) 本人に対して直接的ではないが、本人がアイヌであることを知らない周囲の人がアイヌに対する差別的な発言をしているのを聞いた
- ( - ) その他 ( ) (M.T.=108.3)



(Q2で「あると思う」と答えた方に)

SQ a 2 [回答票3] 差別や偏見の原因・背景は何だと思いますか。  
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=309)

- (65.0) (ア) アイヌの歴史に関する理解の不十分さ
- (64.1) (イ) アイヌ文化に対する理解の不十分さ
- (42.1) (ウ) 行政や学校教育におけるアイヌの人々の理解を深める取組が不十分
- (17.5) (エ) 経済的格差
- (15.9) (オ) 教育水準の格差
- (13.3) (カ) 雇用の不安定
- ( 1.0) その他 ( )
- ( 3.2) わからない (M.T.=222.0)



SQ a 3 [回答票4] 差別や偏見を無くすために必要なことは何だと思いますか。  
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (53.4) (ア) アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動
- (72.5) (イ) アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育
- (19.4) (ウ) アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の確保
- (28.2) (エ) アイヌの人々への教育の充実・支援
- (20.4) (オ) アイヌの人々への差別に対応する専門の相談機関・施設の充実
- ( 1.0) その他 ( )
- ( 2.9) わからない (M.T.=197.7)

(Q2で「ないと思う」と答えた方に)

SQ b [回答票5] あなたは、なぜ差別や偏見がないと回答しましたか。  
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(N=875)

- (69.7) (ア) アイヌの人々が差別を受けている場面を見たり、差別を受けている話を聞いたことがないから
- (30.1) (イ) 今のアイヌの人々は、アイヌ以外の人々と同様に現代的な生活をしているから
- (19.8) (ウ) アイヌの人々もアイヌ以外の人々と同様に人権を保障されているから
- ( 6.7) (エ) アイヌの人々に対する理解を深める取組の効果が出ているから
- ( 1.9) その他 ( )
- ( 2.7) わからない (M.T.=131.0)

### 3 国民理解の促進について

(全員の方に)

Q3〔回答票6〕あなたは、広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (67.8) (ア) テレビ番組や新聞を利用した情報提供
- (15.6) (イ) 広報誌・パンフレットの配布, ポスターの掲示
- (27.5) (ウ) インターネットによる広報活動
- (22.7) (エ) 講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催
- (29.0) (オ) 再現されたアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験
- (14.6) (カ) キャラクターやロゴマークを活用した親しみやすさを感じる広報活動
- ( 1.3) その他 ( )
- ( 7.9) 特にない
- ( 4.1) わからない (M.T.=190.4)